

# 令和2年度シラバス（公民）

学番 21 新潟県立阿賀黎明高等学校

教科（科目）	公民(現代社会)	単位	2単位	学年（コース）	1年
使用教科書	現代社会（東京書籍）				
副教材等	フォーラム現代社会（東京法令）				

## 1 学習目標

<p>① 広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深める。</p> <p>② 現代社会の基本的な問題について、主体的に考え、公正に判断することができる。</p> <p>③ 人間としての在り方や生き方について考える力の基礎を養う。</p> <p>④ 良識ある公民として必要とされる能力と態度を身につける。</p>
--

## 2 指導の重点

<p>① 現代社会の諸課題について、多面的な観点から追究し、現代社会に対する興味・関心を高める。</p> <p>② 資料の収集と活用、およびレポートや発表の仕方、具体的な事例学習を通じて身につけさせる。</p> <p>③ 現代社会と自分との関わりについて着目させ、自らの在り方生き方を主体的に考えさせる。</p>
--

## 3 指導計画

月	科目、章、節	学習内容	時間
4	第1部 わたしたちの生きる社会 テーマ1 地球環境問題 テーマ2 資源・エネルギー問題 テーマ3 科学技術の発達と生命 テーマ4 情報化の進展と生活	私たちが直面している諸課題について理解を深めるとともに、その解決に向けて主体的に考える学習を行います。	5
5	第2部 現代の社会と人間 第1章 青年期と自己形成の課題 1 現代社会と青年の生き方	現代社会の特質を、自己の在り方や生き方と関わらせてとらえさせ、主体的にいかに関わるかを学びます。 ① 現代社会と青年                      ③ 自己形成の社会のかかわり ② 青年期と発達課題                  ④ 進路と生きがいの創造	4
1学期中間考査			1
5	2 よりよく生きることを求めて	① 哲学と人間                      ⑤ 人間性の回復を求めて ② 宗教と人間                      ⑥ 日本の伝統思想の考え方 ③ 近代科学の考え方              ⑦ 外来思想の受容と日本人の自覚 ④ 人間の尊厳	6
6	第2章 日本国憲法と民主政治 1 民主政治とは	民主主義の発展の歴史と考え方について学び、実際の政治制度にどのように生かされているかを学びます。 ① 民主政治の成立                  ③ 世界の政治体制 ② 基本的人権の確立	4
7	2 日本国憲法の基本原理	日本国憲法が規定する基本的人権の内容と、それが社会の中でどのように生かされているかについて、判例などを踏まえながら具体的に学びます。 ① 日本国憲法の三つの原理        ③ 基本的人権の保障(2) ② 基本的人権の保障(1)          ④ 新しい人権と人権保障の広がり	4
1学期期末考査			1
7	3 日本の政治機構	基本的人権を保障する統治機構のしくみとはたらきについて学ぶとともに、政治改革や行政改革、司法改革の動向について学びます。 ① 国会と立法                      ③ 裁判所と司法 ② 内閣と行政                      ④ 地方自治	4
8	課題研究	税についての資料（後日配布）を読み、税についての作文(800字)を書く。	
9	4 現代政治の特質と課題 第3章 現代社会と法 1 現代社会と法	① 選挙のしくみと課題              ③ 世論と政治参加 ② 政党と利益集団  ① 法の働き                          ③ 司法と人権 ② 社会生活と法	7
2学期中間考査			1

10	第4章 現代の経済と国民福祉 1 経済のしくみ	現代日本における経済を理解するために必要な知識を学び、新聞やニュースで報道されている経済問題を読み解いていきます。 1 経済社会の受容      5 金融のしくみと働き 2 現代の企業            6 中央銀行の役割と金融の自由化 3 市場経済のしくみ    7 政府の役割と財政 4 国民所得と経済成長	7
11	2 変化する日本経済	高度経済成長以後の日本経済の歩みを、私たちの生活の変化という観点からとらえるとともに、バブル崩壊の影響が日本経済や私たちの生活に与えた影響について学びます。 1 戦後復興と高度経済成長      3 バブル後の日本経済 2 産業構造の転換と国際経済環境の変化    4 中小企業と農業	7
2 学期期末考査			1
11	3 豊かな生活の実現	1 自立した消費者への道      4 社会保障の役割 2 労働者の権利                5 環境保全と循環型社会 3 現代の雇用・労働問題	4
12	第5章 国際社会と人類の課題 1 国際政治のしくみと動向	国際社会のしくみやルールを学び、国際社会に生きるために必要な資質を身につけるとともに、国際社会のなかで日本が果たすべき役割について学びます。 1 国際社会の特質                4 国際連合の役割と課題 2 国際紛争を避けるしくみ      5 冷戦とその後の役割 3 国際連合と安全保障          6 軍縮への取り組み	4
1	2 国際経済のしくみと動向	1 貿易と国際分業                4 対立と協調の時代 2 外国為替のしくみと国際収支    5 グローバル化する経済 3 戦後国際経済の枠組みとその変化	4
2	3 国際社会の現状と課題	1 地域統合の進展                4 国際紛争と難民問題 2 受容する世界経済                5 国境をこえて広がる地球規模の課題 3 国際的な格差の是正                6 日本の役割	4
学年末考査			1
3	第3部 ともに生きる社会をめざして	①若者の労働環境をどう改善するか？ ②混雑や渋滞はどうしたら回避できるか？ ③ゴミ処理場をどこに建設するか？ ④発展途上国の開発をうながす貿易のあり方は？ ⑤世代と世代の支えあいをどうするか？ ⑥原子力発電の今後をどうするか？	7

1 単位時間は 47 分間 計 76

#### 4 課題・提出物等

・進度ごとのまとめプリント    ・新聞記事レポート    ・発表内容    ・ノート提出    等
--

#### 5 評価規準と評価方法

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
現代社会の諸事象について、新聞やニュースを通じて積極的に知ろうとしている。また、現代社会の諸課題を自らの課題として捉えようとしている。	現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに、自らの在り方生き方を考えようとしている。	判断の根拠となる資料を適切に引用するとともに、引用した内容を合理的に活用できる。	現代社会を読み解く上で必要な基礎的知識を十分身に付けている。
以上の観点を踏まえ、定期考査の点数や提出物の内容により総合的に判断し、100 点法および 5 段階評定で評価します。			

#### 6 担当者からの一言

私たちを取り巻く地域社会に問題意識をもち、世界の諸問題にも認識を広げ、生きるとは何か、社会とは何かを探求します。
--